

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第5部門第2区分
 【発行日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【公開番号】特開2004-245413(P2004-245413A)

【公開日】平成16年9月2日(2004.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2004-034

【出願番号】特願2004-31467(P2004-31467)

【国際特許分類】

F 1 6 C	33/78	(2006.01)
B 6 0 G	13/08	(2006.01)
B 6 0 G	15/06	(2006.01)
F 1 6 C	19/16	(2006.01)
F 1 6 C	33/58	(2006.01)

【F I】

F 1 6 C	33/78	B
F 1 6 C	33/78	Z
B 6 0 G	13/08	
B 6 0 G	15/06	
F 1 6 C	19/16	
F 1 6 C	33/58	

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月15日(2006.3.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

ばねを支持して該ばねと共に周方向に可動な支持要素(12)と接触するように配された軸方向スラスト軸受を形成するころがり軸受(9)を有し、該ころがり軸受が、装置に加えられた荷重を伝達する上方キャップ(18)と接触する上軌道輪(13)と、上記支持要素(12)と接触する下軌道輪(14)とを有し、上記装置はユニット組立体を形成するために支持要素を軸方向で保持する手段を有し、シール手段と環状部材(20)がシールリップ(20d)と支持要素での保持をもたらす部分とをそれぞれ有しているサスペンションスラスト軸受装置において、環状部材が上方キャップへの保持をもたらす部分を有し、シールリップ(20d)が保持部分とは別途に設けられていることを特徴とするサスペンションスラスト軸受装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の一つの視点によると、サスペンションスラスト軸受装置は、ばねを支持して該ばねと共に周方向に可動な支持要素と接触するように配された軸方向スラスト軸受を形成するころがり軸受を有する形式をなす。該ころがり軸受は、主として軸方向力を車輌のシャーシに直接又は間接に結合された他の要素へ伝達する上方キャップと接触する上軌道輪と、ばねのための上方支持要素と接触する下軌道輪とを有している。上記装置はユニット

組立体を形成するために支持要素を軸方向で保持する手段を有している。上記装置は、シールリップと、上方キャップでの保持をもたらす手段と支持要素での保持をもたらす手段とを有し、シールリップは保持部分とは別に形成されている。環状部材は、軸方向での保持、動的シールそして静的シールの三つの機能をもつ。